

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：ホメーロス『イーリアス』 を読む ILAS Seminar :Reading Homer's Iliad			担当者所属 職名・氏名	文学研究科 講師 竹下 哲文		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・前期	受講定員 (1回生定員)	6(6)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	文学部校舎5階 竹下研究室(本 部構内)		使用言語	日本語	
キーワード	ヨーロッパ文学関連 / 文学一般関連 / 西洋古典文学						
<b>[授業の概要・目的]</b>							
<p>本授業の目的は、ホメーロス『イーリアス』の読解を通して、西洋古代の文学作品を鑑賞するポイントを学ぶとともに、こうした文学作品を研究的な見地から扱う際の問題について知ることにあります。また、それと同時に、文献の読解に基づいて自己の見解を記述するための文章作成術を学ぶ実践的な機会も提供します。</p> <p>『イーリアス』（紀元前8世紀成立）は、10年にわたったトロイア戦争の最後に近い局面を描いた英雄叙事詩です。その中心主題は、冒頭にも語られるとおり、アキッレウスの怒りですが、作中にはそれにとどまらず、戦闘、死、人と神、名誉、愛、友情、雄弁など多彩なモチーフが存在します。これらのモチーフ及び種々のエピソードは、西洋古代文学のみならず、以後のあらゆる文学作品に影響を及ぼし、様々な反応を今なお引き起こしているものです。</p> <p>本授業では、毎回『イーリアス』の日本語訳を少しずつ読み進めながらその内容を確認するとともに、そのうちの一部について引用・要約・敷衍という三つの操作を身に着けるための短い作文練習を行ないます。これに加えて、二次文献の扱い方や校正の作法といった、文章を書くための補助的技術についても、随時習得する機会を設けます。</p>							
<b>[到達目標]</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋古代文学の鑑賞のポイントを知る</li> <li>・一次資料を適切に処理（抜粋・要約・敷衍など）できるようになる</li> <li>・資料に基づいて自己の見解を記述できるようになる</li> </ul>							
<b>[授業計画と内容]</b>							
<p>毎回の授業で読み進めた内容について短い文章を作成してもらいます。最終レポートはそれに基づいて執筆することになるので、毎回の予習・復習および授業時間外の取り組みが重要になります。</p> <p>第1回 イントロダクション  第2回 『イーリアス』第1-2歌  第3回 『イーリアス』第3-4歌  第4回 『イーリアス』第5-6歌，校正のやり方  第5回 『イーリアス』第7-8歌  第6回 『イーリアス』第9-10歌  第7回 二次文献の探し方と取り扱い  第8回 『イーリアス』第11-12歌  第9回 『イーリアス』第13-14歌  第10回 『イーリアス』第15-16歌，タイポグラフィについて</p>							
ILASセミナー：ホメーロス『イーリアス』を読む(2)へ続く							

ILASセミナー：ホメロス『イーリアス』を読む(2)

- 第11回 『イーリアス』第17-18歌  
第12回 『イーリアス』第19-20歌  
第13回 『イーリアス』第21-22歌，レポートの準備  
第14回 『イーリアス』第23-24歌  
第15回 フィードバック

授業の進度等を考慮して各回の配分や順序が変わる場合があります。

**【履修要件】**

特になし

**【成績評価の方法・観点】**

授業参加および授業内課題：40%  
最終レポート：60%

**【教科書】**

ホメロス（松平千秋訳）『イリアス 上・下』（岩波書店（岩波文庫），1992年）

**【参考書等】**

（参考書）  
授業中に紹介する

**【授業外学修（予習・復習）等】**

毎回教科書を読み進めるので，その範囲の日本語訳をあらかじめ読むとともに，課題となる小作文を授業日までに準備・提出する必要があります。

**【その他（オフィスアワー等）】**

質問などは授業時間のほか，メールでも受け付けます（takeshita.tetsufumi.7t@kyoto-u.ac.jp）。

**【主要授業科目（学部・学科名）】**